

## 2019年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 株式会社 物語コーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 3097 URL <https://www.monogatari.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加治 幸夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務・成長戦略担当 (氏名) 津寺 毅 TEL 0532-63-8001  
 定時株主総会開催予定日 2019年9月25日 配当支払開始予定日 2019年9月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年9月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2019年6月期の連結業績（2018年7月1日～2019年6月30日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	58,924	13.0	3,933	17.1	4,686	21.2	2,938	23.1
2018年6月期	52,123	16.8	3,355	30.1	3,865	26.4	2,386	15.1

（注）包括利益 2019年6月期 2,898百万円（21.6%） 2018年6月期 2,381百万円（15.8%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年6月期	488.33	486.57	17.9	15.0	6.6
2018年6月期	397.03	395.34	16.7	14.0	6.4

（参考）持分法投資損益 2019年6月期 ー百万円 2018年6月期 ー百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期	32,735	17,681	53.7	2,922.78
2018年6月期	29,735	15,267	51.0	2,526.84

（参考）自己資本 2019年6月期 17,593百万円 2018年6月期 15,192百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年6月期	5,803	△4,753	△206	6,260
2018年6月期	5,656	△4,802	196	5,491

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年6月期	ー	40.00	ー	40.00	80.00	480	20.1	3.4
2019年6月期	ー	45.00	ー	45.00	90.00	541	18.4	3.3
2020年6月期(予想)	ー	55.00	ー	55.00	110.00		20.7	

### 3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,815	11.4	2,254	21.5	2,273	0.5	1,435	1.7	238.52
通期	66,396	12.6	5,067	28.8	5,100	8.8	3,184	8.3	529.07

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期	6,020,382株	2018年6月期	6,013,272株
② 期末自己株式数	2019年6月期	881株	2018年6月期	822株
③ 期中平均株式数	2019年6月期	6,017,386株	2018年6月期	6,010,179株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年6月期の個別業績（2018年7月1日～2019年6月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	55,871	12.7	3,689	17.1	4,472	21.7	2,990	37.5
2018年6月期	49,565	15.0	3,149	28.1	3,671	26.0	2,173	16.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期	496.91	495.12
2018年6月期	361.71	360.16

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2019年6月期	32,137		17,506		54.2		2,896.02	
2018年6月期	29,133		15,002		51.2		2,484.71	

(参考) 自己資本 2019年6月期 17,432百万円 2018年6月期 14,939百万円

2. 2020年6月期の個別業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	30,143	11.6	2,147	1.2	1,372	4.8	228.07	
通期	62,563	11.9	4,850	8.4	3,058	2.2	508.10	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年8月16日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年6月期 決算短信」より日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続いている一方で、米中貿易摩擦の激化や中国の景気減速懸念等、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクの継続等の影響が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、消費回復の傾向が見られるものの、原材料価格の高止まりや、人手不足を背景とした人件費の上昇に加え、地震や台風などの自然災害による売上高への影響により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、郊外ロードサイドの好立地への積極的な出店を進めるとともに、積極的な既存店舗のリニューアルや新メニュー開発など、店舗の収益改善に向けた施策を進めて参りました。また、新業態「きゃべとんラーメン」「牛たん大好き 焼肉はっぴい」の開発・育成を進めるとともに、2019年4月には、愛知県小牧市に液体調味料を内製化するための工場「物語フードラボ」を開設しました。さらに、物流の効率化、人材の採用や教育面の強化、世代交代と業務執行体制の一層の強化を目的とした機構改革を実施し、中長期的な成長の実現に向けた基盤づくりにも、引き続き取り組んで参りました。

上述の取組みにより、国内既存店（注1）の売上高は、直営店においては前期比2.0%増、フランチャイズ店においては0.8%増と堅調に推移しました。

新規出店につきましては、国内において直営店30店舗、フランチャイズ店18店舗、海外において6店舗の出店を実施した結果、当連結会計年度末における当社グループ店舗数は515店舗（直営店277店舗、フランチャイズ店221店舗、海外17店舗）となりました（後掲表1）。

以上の結果により、売上高は58,924,277千円（前期比13.0%増）、営業利益3,933,004千円（前期比17.1%増）、経常利益4,686,824千円（前期比21.2%増）となり、売上高及び経常利益において、14期連続増収増益（注2）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は2,938,471千円（前期比23.1%増）となりました。

（注1）国内既存店とは、18ヶ月以上開店している国内の店舗を対象としております。

（注2）当該14期とは、第45期（2014年6月期）までの個別決算における9期を含めたものであります。

当連結会計年度におけるセグメント別の概況については、当社グループの事業は単一セグメントでありますので、その概況を部門別に示すと次のとおりであります。

#### ①焼肉部門

当連結会計年度中において、「焼肉きんぐ」は18店舗の出店（直営店8店、フランチャイズ店10店）を実施しました。これにより、焼肉部門の当連結会計年度末の店舗数は235店舗（直営店140店、フランチャイズ店95店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は30,082,280千円（前期比11.0%増）となりました。

#### ②ラーメン部門

当連結会計年度中において、「丸源ラーメン」は15店舗の出店（直営店9店、フランチャイズ店6店）を実施し、「きゃべとんラーメン」は4店舗の出店（直営店4店）を実施しました。これにより、ラーメン部門の当連結会計年度末の店舗数は151店舗（直営店60店、フランチャイズ店91店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は7,606,203千円（前期比24.7%増）となりました。

#### ③お好み焼部門

当連結会計年度中において、「お好み焼本舗」は1店舗の出店（フランチャイズ店1店）を実施しました。これにより、お好み焼部門の当連結会計年度末の店舗数は39店舗（直営店18店、フランチャイズ店21店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は2,498,483千円（前期比8.1%減）となりました。

#### ④ゆず庵部門

当連結会計年度中において、「寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵」は9店舗の出店（直営店8店、フランチャイズ店1店）を実施しました。これにより、ゆず庵部門の当連結会計年度末の店舗数は69店舗（直営店55店、フランチャイズ店14店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は10,608,233千円（前期比18.8%増）となりました。

#### ⑤専門店部門

当連結会計年度中において、新業態「牛たん大好き 焼肉はっぴい」は1店舗の出店（直営店1店舗）を実施しました。これにより、専門店部門の当連結会計年度末の店舗数は4店舗（直営店4店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は1,024,860千円（前期比2.1%増）となりました。

⑥フランチャイズ部門

主にフランチャイズ加盟店舗からの売上ロイヤルティ・加盟金・業務受託料等であります。当連結会計年度中にフランチャイズ店18店舗の出店を実施しました。これにより、フランチャイズ部門の当連結会計年度末の店舗数は221店舗となりました。

以上の結果により、売上高は4,047,323千円（前期比9.2%増）となりました。

⑦その他部門

主に連結子会社である物語（上海）企業管理有限公司による取組みであります。当連結会計年度中に6店舗の出店を実施しました。これにより、その他部門の当連結会計年度末の店舗数は17店舗となりました。

以上の結果により、売上高は3,056,892千円（前期比18.3%増）となりました。

表1 「部門別店舗数の状況」

(単位：店)

	直営 (国内)	F C (国内)	海外	2019年6月末 店舗数
焼肉部門	140	95	—	235
ラーメン部門	60	91	—	151
お好み焼部門	18	21	—	39
ゆず庵部門	55	14	—	69
専門店部門	4	—	—	4
その他部門	—	—	17	17
合計	277	221	17	515

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末と比べて1,089,877千円増加し、8,931,080千円となりました。これは、現金及び預金が768,881千円、売掛金が219,491千円増加したこと等が主な要因であります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、前連結会計年度末と比べて1,910,596千円増加し、23,804,640千円となりました。これは、設備投資により有形固定資産が1,794,556千円、新規出店用地の契約により差入保証金が206,110千円増加したこと等が主な要因であります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末と比べて251,064千円増加し、8,118,031千円となりました。これは、買掛金が247,575千円増加したこと等が主な要因であります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は、前連結会計年度末と比べて335,528千円増加し、6,935,946千円となりました。これは、長期借入金が198,460千円増加したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末と比べて2,413,881千円増加し、17,681,743千円となりました。これは、利益剰余金が2,427,149千円増加したこと等が主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較し768,881千円増加し6,260,109千円（前期比14.0%増）となりました。

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、営業活動の結果得られた資金は5,803,776千円（前期比2.6%増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が4,220,343千円あったこと及び減価償却費が2,464,452千円あったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、投資活動の結果使用した資金は4,753,919千円(前期比1.0%減)となりました。これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が4,455,731千円あったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、財務活動の結果使用した資金は206,498千円(前期は196,288千円の獲得)となりました。これは主に、設備投資のための長期借入金の調達に1,600,000千円あった一方で、配当金512,523千円の支払、借入金の返済が1,287,278千円あったこと等を反映したものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年6月期	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期
自己資本比率	54.2%	51.2%	52.4%	51.0%	53.7%
時価ベースの自己資本比率	127.1%	138.2%	136.4%	228.2%	157.9%
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	0.9年	1.5年	1.2年	1.0年	1.0年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	130.6倍	112.1倍	157.5倍	224.8倍	267.7倍

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式総数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、消費回復の傾向が見られるものの、原材料価格の高止まりや、人手不足を背景とした人件費の上昇など、厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況の中で、当社グループは、「焼肉きんぐ」「丸源ラーメン」「寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵」の主力ブランドを中心に引き続き積極出店を行うとともに、既存店舗のリニューアルと商品やサービスなどの向上を中心とした継続的なフォーマット改善を推進して参ります。また、新業態の開発や育成にも積極的に取り組み、今後の持続的な成長の実現を支える経営基盤の強化を図るため、諸施策に取り組んで参ります。

次期の新規出店に関しましては、焼肉部門18店舗(うちフランチャイズ店7店舗)、ラーメン部門17店舗(うちフランチャイズ店4店舗)、ゆず庵部門12店舗(うちフランチャイズ店3店舗)、専門部門4店舗、その他部門6店舗の計57店舗を予定しております。

以上の状況から、通期連結業績の見通しにつきましては、売上高66,396百万円(前期比12.6%増)、営業利益5,067百万円(前期比28.8%増)、経常利益5,100百万円(前期比8.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3,184百万円(前期比8.3%増)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、収益実績に弾力的に対応かつ安定的な配当を継続することを基本としつつ、将来の事業展開と財務体質の強化に備えるために必要な内部留保の充実も念頭に置き、財政状況、収益状況及び配当性向等を総合的に勘案して配当を決定することを方針としております。

また、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当は株主総会、中間配当は取締役会であります。

当事業年度の配当につきましては、上記方針に基づき、中間配当は1株当たり45円を実施しました。また、期末配当は1株当たり45円を予定しております。この結果、当事業年度の連結決算による配当性向は、18.4%となる予定であります。

配当以外の剰余金につきましては財務体質を強化すべく、内部留保して参りたいと考えております。

次期の配当につきましても、引き続き上記方針に基づき実施する予定であり、年間配当金として1株当たり110円(中間配当55円、期末配当55円)を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,491,227	6,260,109
売掛金	911,792	1,131,283
商品及び製品	296,741	323,173
原材料及び貯蔵品	65,986	70,446
その他	1,075,757	1,146,432
貸倒引当金	△303	△364
流動資産合計	7,841,202	8,931,080
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,457,824	16,136,182
機械装置及び運搬具(純額)	71,685	194,208
工具、器具及び備品(純額)	1,857,125	1,776,419
土地	446,864	446,864
リース資産(純額)	30,154	38,577
建設仮勘定	219,363	285,322
有形固定資産合計	17,083,017	18,877,574
無形固定資産	317,834	296,284
投資その他の資産		
投資有価証券	9,866	7,497
繰延税金資産	648,955	593,358
差入保証金	3,647,561	3,853,672
その他	186,807	176,253
投資その他の資産合計	4,493,192	4,630,781
固定資産合計	21,894,044	23,804,640
資産合計	29,735,247	32,735,721



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,808,111	2,055,687
1年内返済予定の長期借入金	1,173,032	1,287,294
未払法人税等	1,042,574	697,226
株主優待引当金	21,723	22,783
ポイント引当金	—	43,703
その他	3,821,524	4,011,336
流動負債合計	7,866,967	8,118,031
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	3,672,410	3,870,870
退職給付に係る負債	304,702	329,159
資産除去債務	401,163	454,293
その他	1,222,141	1,281,623
固定負債合計	6,600,417	6,935,946
負債合計	14,467,384	15,053,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,711,136	2,719,616
資本剰余金	2,576,308	2,584,788
利益剰余金	9,913,330	12,340,480
自己株式	△1,293	△1,899
株主資本合計	15,199,482	17,642,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,857	3,101
為替換算調整勘定	△3,845	△50,064
退職給付に係る調整累計額	△7,986	△2,299
その他の包括利益累計額合計	△6,974	△49,262
新株予約権	62,983	73,709
非支配株主持分	12,369	14,310
純資産合計	15,267,862	17,681,743
負債純資産合計	29,735,247	32,735,721

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
売上高	52,123,947	58,924,277
売上原価	18,059,532	20,311,238
売上総利益	34,064,415	38,613,038
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	12,894,480	14,783,014
退職給付費用	60,854	66,688
賃借料	3,701,681	4,148,149
減価償却費	2,160,610	2,421,313
株主優待引当金繰入額	21,723	22,783
ポイント引当金繰入額	—	43,703
その他	11,869,107	13,194,381
販売費及び一般管理費合計	30,708,456	34,680,034
営業利益	3,355,958	3,933,004
営業外収益		
受取利息及び配当金	17,088	16,742
受取賃貸料	15,360	12,960
協賛金収入	503,085	781,328
その他	38,545	42,029
営業外収益合計	574,079	853,060
営業外費用		
支払利息	25,156	21,672
為替差損	10,644	46,677
賃貸収入原価	9,479	9,428
その他	18,959	21,463
営業外費用合計	64,240	99,240
経常利益	3,865,797	4,686,824
特別損失		
固定資産除却損	62,930	112,664
減損損失	115,326	227,216
店舗閉鎖損失	63,114	126,600
特別損失合計	241,371	466,481
税金等調整前当期純利益	3,624,426	4,220,343
法人税、住民税及び事業税	1,349,111	1,221,856
法人税等調整額	△113,225	57,259
法人税等合計	1,235,886	1,279,116
当期純利益	2,388,540	2,941,226
非支配株主に帰属する当期純利益	2,296	2,755
親会社株主に帰属する当期純利益	2,386,244	2,938,471

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
当期純利益	2,388,540	2,941,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,043	△1,755
為替換算調整勘定	1,936	△47,034
退職給付に係る調整額	△10,871	5,686
その他の包括利益合計	△6,891	△43,103
包括利益	2,381,648	2,898,123
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,379,787	2,896,183
非支配株主に係る包括利益	1,861	1,940

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,708,720	2,581,571	7,977,787	△1,293	13,266,786
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	2,416	2,416			4,832
剰余金の配当			△450,701		△450,701
親会社株主に帰属する当期純利益			2,386,244		2,386,244
自己株式の取得					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△7,679			△7,679
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	2,416	△5,263	1,935,543	—	1,932,696
当期末残高	2,711,136	2,576,308	9,913,330	△1,293	15,199,482

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	2,814	△3,387	2,884	2,312	40,207	—	13,309,306
当期変動額							
新株の発行 (新株予約権の行使)				—			4,832
剰余金の配当				—			△450,701
親会社株主に帰属する当期純利益				—			2,386,244
自己株式の取得				—			—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				—			△7,679
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	2,043	△458	△10,871	△9,286	22,776	12,369	25,860
当期変動額合計	2,043	△458	△10,871	△9,286	22,776	12,369	1,958,556
当期末残高	4,857	△3,845	△7,986	△6,974	62,983	12,369	15,267,862

当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,711,136	2,576,308	9,913,330	△1,293	15,199,482
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	8,479	8,479			16,959
剰余金の配当			△511,321		△511,321
親会社株主に帰属する当期純利益			2,938,471		2,938,471
自己株式の取得				△605	△605
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	8,479	8,479	2,427,149	△605	2,443,503
当期末残高	2,719,616	2,584,788	12,340,480	△1,899	17,642,986

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	4,857	△3,845	△7,986	△6,974	62,983	12,369	15,267,862
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)				—			16,959
剰余金の配当				—			△511,321
親会社株主に帰属する当期純利益				—			2,938,471
自己株式の取得				—			△605
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,755	△46,218	5,686	△42,287	10,725	1,940	△29,621
当期変動額合計	△1,755	△46,218	5,686	△42,287	10,725	1,940	2,413,881
当期末残高	3,101	△50,064	△2,299	△49,262	73,709	14,310	17,681,743

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,624,426	4,220,343
減価償却費	2,188,612	2,464,452
減損損失	115,326	227,216
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	78	60
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△994	1,059
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	—	43,703
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	29,141	32,592
受取利息及び受取配当金	△17,088	△16,742
支払利息	25,156	21,672
為替差損益 (△は益)	10,450	46,493
固定資産除却損	57,466	106,255
店舗閉鎖損失	47,721	98,986
売上債権の増減額 (△は増加)	△167,391	△219,491
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△38,089	△30,891
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△294,780	△54,557
仕入債務の増減額 (△は減少)	305,188	247,575
未払消費税等の増減額 (△は減少)	115,513	92,626
未払費用の増減額 (△は減少)	243,816	165,574
その他の負債の増減額 (△は減少)	316,541	△200,929
預り保証金の増減額 (△は減少)	52,356	77,554
その他	29,057	30,382
小計	6,642,507	7,353,935
利息及び配当金の受取額	1,764	1,890
利息の支払額	△24,884	△21,441
法人税等の支払額	△962,853	△1,530,608
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,656,533	5,803,776
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,330,032	△4,455,731
無形固定資産の取得による支出	△77,498	△69,432
差入保証金の差入による支出	△535,765	△362,434
差入保証金の回収による収入	143,882	148,573
その他	△3,514	△14,894
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,802,928	△4,753,919
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,800,000	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△1,148,562	△1,287,278
株式の発行による収入	3,373	4,311
配当金の支払額	△449,777	△512,523
その他	△8,745	△11,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	196,288	△206,498
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,028	△74,476
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,040,865	768,881
現金及び現金同等物の期首残高	4,450,362	5,491,227
現金及び現金同等物の期末残高	5,491,227	6,260,109

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日) 及び当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

当社グループは、飲食店事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり純資産額	2,526円84銭	2,922円78銭
1株当たり当期純利益	397円03銭	488円33銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	395円34銭	486円57銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
純資産の部の合計額 (千円)	15,267,862	17,681,743
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	75,353	88,019
(うち新株予約権 (千円))	(62,983)	(73,709)
(うち非支配株主持分 (千円))	(12,369)	(14,310)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	15,192,508	17,593,724
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	6,012,450	6,019,501

(注) 2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	2,386,244	2,938,471
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	2,386,244	2,938,471
期中平均株式数 (株)	6,010,179	6,017,386
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	25,786	21,729
(うち新株予約権 (株))	(25,786)	(21,729)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。